

## 安全衛生作業シート

ユ ニ ッ ト	ガス溶接、ガス切断・プラズマ切断	分 類 番 号	MU202-0010-1 MU202-0030-2
作 業 内 容	安 全 衛 生 作 業 の ポ イ ン ト		
ガス溶接、ガス切断 作業	<ul style="list-style-type: none"><li>・作業場所周辺の整理整頓を確認すること。</li><li>・作業場所の換気状態に問題はないか、あわせて局所排気装置等に異常がないかを確認すること。</li><li>・溶接、切断作業に適した作業服および保護具を着用すること。</li><li>・周りに危険物（引火性の物質）等がないかを確認すること。</li><li>・作業場所ならびにガス容器の近くで点火源のおそれとなる作業が行われていないか、または機器等がないかを確認すること。</li><li>・ガス容器は直射日光のあたらない場所で、転倒防止処置を施して使用すること。</li><li>・わずかでも不良箇所のある機器は使用しないこと。</li><li>・少しのガス漏れも見落とさないように点検すること。</li><li>・逆火時は最初に酸素コックを閉め、続いてアセチレンコックを閉めること。</li><li>・吹管のコックが閉じていることを確認し、調整器のハンドルを緩めておくこと。</li><li>・作業終了時はガスの容器弁を閉め残圧をぬき、調整ハンドルを緩めること。</li></ul>		
プラズマ切断作業	<ul style="list-style-type: none"><li>・感電、やけど防止のため、長袖の作業服及び保護具を装着すること。</li><li>・遮光面（遮光度番号10～12番）を使用し、アークを裸眼で見ないこと。</li></ul>		
災害事例： <ul style="list-style-type: none"><li>・ガス溶接作業中にアセチレンホースと吹管の接続部分がはずれ、その直後ホース先端からのガスに隣で作業していた人の火花が飛び引火した。</li><li>・ガス切断作業後、銅板が冷えているものと思い軍手をした手で触れたところ、右手親指を火傷した。</li></ul>			